R4.5.27

淀川舟運活性化協議会

淀川舟運活性化協議会　担当者会議を開催

～淀川舟運活性化に向けた取り組みの方向性について船上意見交換～

淀川舟運の更なる活性化を図るべく本年３月に淀川舟運活性化協議会を新たに設立しました。今回は、本協議会の実務担当者が現地に集まり、淀川舟運活性化に向けた取り組みの方向性について議論しました。

当日、伏見地区の三栖閘門や毛馬閘門、淀川大堰閘門の工事現場を視察した他、実際に船に乗って舟運全体の課題や改善点などについて議論しました。

取り組みの概要

○日時　令和4年5月27日　10時～16時

○参加者（計４８名）

・淀川舟運活性化協議会の構成機関実務担当者
（近畿地方整備局、近畿運輸局、大阪府、京都府、大阪市、高槻市、守口市、枚方市、寝屋川市、摂津市、京都市、宇治市、八幡市、久御山町、水都大阪コンソーシアム、（特非）大阪水上安全協会、京阪HD（株）、阪急電鉄（株）、（一財）公園財団淀川河川公園管理センター）

・ファシリテーター
岩本唯史氏（ミズベリングプロジェクトディレクター）

岩本唯史氏
（ミズベリングプロジェクトディレクター）

点野船着場にて観光船「ひまわり」に乗船

○コース及び内容

・船上意見交換（点野～八軒家浜間　大阪水上バス「ひまわり」乗船）
・現地視察（船上からの航路、三栖閘門、背割堤船着場、淀川大堰閘門工事現場等）
・各機関による水辺のにぎわいづくりの取り組み紹介
（宇治市、京都市、枚方市、大阪市）

淀川大堰閘門

工事現場視察

各機関の取り組み紹介
（WEBで各バスに同時中継）

毛馬閘門に進入

三栖閘門視察

岩本氏進行の元、船上で意見交換
（模造紙に意見を書いた付箋を貼付け）

ひまわり号デッキより航路視察

船上意見交換のまとめ

以下のような検討事項について意見が出された。

意見交換の成果一部

（船着場の魅力向上について）
・まちから船着場が遠いことが課題。
・シェアサイクルや電動キックボード等の交通モードと組合せ。
・ガイド付きのまち歩き等のコンテンツの追加。

（観光コンテンツについて）
・船内の楽しみ（乗り心地、食事、お酒など）そのものがコンテンツ。
・自然を活かしたジャングルクルーズやアクティビティ的なコンテンツが必要。
・体験しないと分からない良さ（風が気持ちいい、空が広い、非日常感）等、今回の乗船で感じたことを前提としたストーリーを作る。新たな試みは人寄せになる。
・にぎわい拠点を船で結んだり、航行が困難な場所は陸上交通で補完することも考えられる。
・ターゲット層の検討も必要。

（船舶の安全面について）
・船の大きさに準じ、運航する場所の安全確保が必要。

【問い合わせ先】（本協議会について）近畿地方整備局 河川部 河川計画課
〒540-8586 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館
TEL 06-6945-6355

（淀川舟運について）淀川河川事務所　調査課
〒573-1191 枚方市新町2-2-10
TEL 072-843-2861